



今月の表紙 町内各小学校で運動会が行われました

9月、町内各小学校において運動会が行われました。徒競走や大玉転がし、組み体操、玉入れ、綱引きなど、子どもたちは日頃練習してきた成果を存分に発揮し、伸び伸びとはつらつと楽しんでいました。

表紙写真は、中央小学校で行われた綱引き合戦での1枚です。紅組と青組に分かれた子どもたちは、先生のかげ声とともに精一杯綱を引きました。それこそ手の皮がむけるほどです。

秋晴れの空の下、子どもたちと保護者たちの大きな歓声がこだましていました。

目次 contents

2 シリーズ 地域再発見の学び舎

川根茶塾基礎講座「茶歌舞伎」を開催しました

4 [特集]この町と、ともに生きる 全国まちづくりフォーラムin奥大井が残した足あと

34 町内中学生の「カナダ研修記」 ~言葉は通じなくても、通じ合う心がある~

36 外出支援サービス事業 いよいよ川根本町全域で統一した制度に変わります

38 役場の窓辺から

奥大井ふるさと祭りを開催します/保育園・幼稚園の園児を募集します/知ってトクする健康の話/ほか

41 まちの話題

敬老の日に和楽器の音色をプレゼント 中川根南部小/観光講演会を開催 中川根商工会/地名地区 案山子コンテスト/全国大会出場 赤石太鼓ジュニアチーム/ほか

46 このまちにはこんなに魅力があったんだ わが町自慢再発見ツアー同行取材レポート

48 生涯学習のひろば 生涯学習講座開講しています/市町村対抗駅伝に向けて/ほか

50 暮らしの情報ページ

戸籍の窓辺/クレディアの債務残高にご注意/労働に関する総合相談コーナー開設/建築塗装に関する相談開設/ほか

52 みんなの広場

このまち、この人 青木美智子さん/ほか

53 地球に「イイコト」始めよう 室内の「湿度」に気を配りましょう

54 学校レポーター'sコラム

川根高等学校 1年 神谷 裕志さん

綴じ込み 暮らしのカレンダー



P14



P39



P43



P49

シリーズ 地域再発見の学び舎

今回の基礎講座には21人の塾生が参加して行われました



真剣な表情で茶の銘柄当りに挑戦しています

かわねちゃじゅく

【川根茶塾】

川根本町には、地域の歴史や文化、風土、伝統などを多方面から楽しみながら学ぶ講座があります。地域の魅力を発掘する「千年の学校」と「川根茶塾」。この2つの講座を通して、自らが住む地域に誇りを持つ人材を育成し、活力に満ちたまちづくりの実現を目指しています。このシリーズでは、地域の魅力を掘り起こす各講座の様子をお伝えしていきます。

9月15日、川根茶業センターで行われた川根茶塾・基礎講座は、「茶歌舞伎(闘茶会)」です。茶歌舞伎とは、茶の銘柄に、花、鳥、風、月、客の名前をつけて、茶葉の見た目、香り、味などから銘柄を当てる競技・遊びです。一般的に闘茶会、茶歌舞伎、茶香服といわれています。1回飲むごとに、自分の思った茶銘の札を投札箱に入れます。そして一通り(5種)すめば、大きな声で点数を読み上げ、点数表に書き込みます。これを5回繰り返して、その合計点で順位を決めます。今回使用した茶は、やぶきた、おくひかり、やぶきた深むし、やぶきた並、棒茶の5種類、そして講師は、J A川根茶業センターの職員で日本茶インストラクターでもある芦沢哲哉さんを迎えて行われました。芦沢さんは、「今まで闘茶会を行った中で、0点を取った人を見たことがありません。0点を出すのは難しいので、4回目まで0点の人は5回目も0点を目指しましょう」と、笑いを交えながら茶歌舞伎について説明をしました。説明の後、早速茶歌舞伎を開始しました。皆さん、1回目は悪戦苦闘です。1つも正解できない人も多く見られました。2回、3回と回数を重ねていくと正解率もだんだん上がり、最後の5回目には、5種類すべて当てた塾生が3人もいました。そして、芦沢さんが最初の説明で言った通り、0点だった人はいませんでした。茶というのは、値段が高ければ甘味が出る、安ければ渋い、というものではなく、入れ方によっても味がかなり左右されます。茶歌舞伎では煎出方法が、熱湯で茶量10グラム、浸出時間1分30秒、湯量300ccと定められており、値段が高い茶の方が渋かったり、安い茶の方が飲みやすかったりすることもあります。今回の茶歌舞伎では、茶の銘柄をただ当てるだけではなく、このような茶の仕組みも知ることができたようです。茶歌舞伎は、競技でありながら、お茶を楽しむことができます。塾生たちも和気あいあいと楽しみながら茶を学べた様子です。皆さんもぜひ「茶歌舞伎」に挑戦してみてください。

川根茶の風味に通じる 基礎講座「茶歌舞伎」